



## 2025年9月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月31日

上場会社名 ホウライ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9679 URL <https://www.horai-kk.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 直樹  
問合せ先責任者 (役職名) 財務企画部長 (氏名) 小林 寿太郎 TEL 03-6810-8151  
定時株主総会開催予定日 2025年12月23日 配当支払開始予定日 2025年12月24日  
有価証券報告書提出予定日 2025年12月16日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年9月期の業績 (2024年10月1日～2025年9月30日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	6,111	11.5	616	7.9	734	1.4	497	61.6
2024年9月期	5,480	5.7	571	8.3	724	△2.7	308	△40.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年9月期	118.89	—	5.2	3.7	10.1
2024年9月期	73.55	—	3.3	3.7	10.4

(参考) 持分法投資損益 2025年9月期 ー百万円 2024年9月期 ー百万円

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	19,706	9,865	50.1	2,355.50
2024年9月期	19,799	9,379	47.4	2,239.54

(参考) 自己資本 2025年9月期 9,865百万円 2024年9月期 9,379百万円

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年9月期	938	△1,095	△346	1,817
2024年9月期	734	△1,080	173	2,320

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2024年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期	—	0.00	—	66.00	66.00	92	29.9	1.0
2025年9月期	—	0.00	—	24.00	24.00	100	20.2	1.0
2026年9月期(予想)	—	0.00	—	24.00	24.00		20.1	

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年9月期においては、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2025年9月期の1株当たり年間配当金は72円となります。

### 3. 2026年9月期の業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	1.4	630	2.1	730	△0.7	500	0.4	119.39

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期	4,212,000株	2024年9月期	4,212,000株
② 期末自己株式数	2025年9月期	23,925株	2024年9月期	23,703株
③ 期中平均株式数	2025年9月期	4,188,113株	2024年9月期	4,188,297株

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等につきましては、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 貸借対照表 .....	7
(2) 損益計算書 .....	10
(3) 株主資本等変動計算書 .....	11
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(持分法損益等の注記) .....	14
(損益計算書に関する注記) .....	14
(セグメント情報等の注記) .....	15
(1株当たり情報の注記) .....	17
(重要な後発事象の注記) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が期待される中、緩やかな回復が続きました。個人消費については、一部に足跡が残るものの、持ち直しの動きが見られ、企業収益も改善しました。一方で、アメリカの通商政策等の動向、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等から、不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めました。

当事業年度の経営成績は、営業収益につきましては、不動産事業、千本松牧場、ゴルフ事業は前期を上回りましたが、保険事業は前期を下回り、全体では6,111百万円（前期比631百万円増）となりました。営業総利益につきましては、千本松牧場、ゴルフ事業は前期を上回りましたが、保険事業、不動産事業は前期を下回り、全体では1,439百万円（前期比143百万円増）となりました。一般管理費は822百万円（前期比98百万円増）と前期を上回り、営業利益は616百万円（前期比45百万円増）となりました。営業外収益に計上したゴルフ会員権消却益は133百万円（前期比8百万円増）と前期を上回りましたが、営業外損益は全体で前期を下回り、経常利益は734百万円（前期比10百万円増）となりました。また、特別利益は投資有価証券売却益を計上した前期を大きく下回り、特別損失もゴルフ事業の減損損失を計上した前期を大きく下回りましたが、千本松牧場の売店・レストランのリニューアルに伴い、旧施設の除却・取り壊し費用及び減損損失として特別損失62百万円（前期比302百万円減）を計上しました。この結果、当期純利益は497百万円（前期比189百万円増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

#### ①保険事業

リスク管理の専門家としての強みを活かして、お客様に寄り添ったコンサルティングを推進するとともに、リスク管理パートナーとしての総合提案力の深化や、継続的な成長を実現し得る組織・体制の強化に努めました。

営業収益は、生命保険分野においては新たなご契約が増加しましたが、前期に損害保険分野において大口のご契約をいただいたことの影響から、前期比5百万円減少し1,173百万円となりました。営業原価は人件費等の増加を主因に前期を上回り、営業総利益は458百万円（前期比19百万円減）となりました。

#### ②不動産事業

テナント様・入居者様に「安心安全」かつ「快適」な空間のご提供に努め、賃貸不動産の入居率はほぼ満室状態で安定的に推移しました。2023年11月に取得したユージェデンス西大井の賃料収入寄与もあり、営業収益は1,292百万円（前期比15百万円増）となりました。営業原価はエネルギー効率が良く環境に優しい空調機器への更新に伴う減価償却負担の増加等により前期を上回り、営業総利益は759百万円（前期比1百万円減）となりました。

#### ③千本松牧場

観光施設においては、2024年10月にファームショップ（売店）・ファームレストランをリニューアルオープンし、2025年4月には天然温泉水を利用した「温泉じゃぶじゃぶ池」や那須野が原の自然を一望できる「千本松テラス」を新設してグランドオープンを迎えました。各種イベントの開催やSNS等での情報発信に力を入れたことに加え、多くのメディアで話題になったこともあって、ご来場者数は大幅に増加し、前期比概ね1.5倍の増収となりました。

牧場外のソフトクリームショップは、2025年2月に埼玉県越谷市のイオンレイクタウンKazelに5ヵ店目をオープンしました。以後、既存店も含めてお客様に大変ご好評をいただいております。前期比増収となりました。

外販営業は、地元量販店向けの減収を主因として前期比減収となりましたが、ソフトミックスの卸売りや東京駅八重洲中央口改札内ショップでの当社製品の販売等、他社との協業に積極的に取り組みました。

酪農は搾乳牛頭数・搾乳量とも増加し、前期比増収となりました。

この結果、営業収益は全体で2,798百万円（前期比549百万円増）となり、営業原価は施設のリニューアルに伴う費用計上等を主因に前期比増加し、営業総利益は255百万円（前期比121百万円増）となりました。

#### ④ゴルフ事業

ゴルフ場の基盤であるコースコンディションの維持・向上に引き続き取り組み、ご来場者様から高くご評価いただきました。

また、ホームページの見やすさ向上、SNSやメール配信システムの積極的活用、各種プランのご提供等の情報発信に力を入れるとともに、会員様へのサービス充実、大学ゴルフ部の合宿誘致等で、より多くの方にご来場いただけるよう取り組みました。

そして、ご来場いただいたお客様に一層ご満足いただけるよう、クラブハウス売店における品揃えの工夫、レストランの食事の改善や接遇の向上、ご宿泊のお客様向けの夕食メニューの充実等に注力いたしました。

2025年6月には、西那須野カントリー倶楽部において5年連続となる男子プロトーナメントが開催され、参加いただいた男子プロからコースコンディションを高く評価いただくとともに、ネット配信等を通じて、我が国有数のゴルフ場としての認知度を更に高めることができました。

この結果、ご来場者は前期を上回り、営業収益は846百万円（前期比72百万円増）となりました。営業原価は施設改修及び販売促進に関わる費用の増加を主因に前期を上回り、営業総損失は34百万円（前期比43百万円改善）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の流動資産は2,753百万円となり、前期比369百万円減少しました。これは主に現金及び預金が減少したことによるものです。固定資産は16,953百万円となり、前期比276百万円増加しました。これは主に有形固定資産及び投資有価証券の増加によるものです。

この結果、総資産は、19,706百万円となり、前期比92百万円減少しました。

(負債)

当事業年度末の流動負債は1,507百万円となり、前期比264百万円減少しました。これは主に未払金の減少によるものです。固定負債は8,334百万円となり、前期比313百万円減少しました。これは主にゴルフ会員権買取等により長期預り保証金が減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、9,841百万円となり、前期比578百万円減少しました。

(純資産)

当事業年度末の純資産合計は9,865百万円となり、前期比485百万円増加しました。これは主に当期純利益の計上によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前期比502百万円減少し、1,817百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前当期純利益672百万円を主因に938百万円の収入（前期は734百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出△1,040百万円を主因に1,095百万円の支出（前期は1,080百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出△120百万円、入会預り保証金の返還による支出△111百万円、配当金の支払い△91百万円等を主因に346百万円の支出（前期は173百万円の収入）となりました。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期
自己資本比率	48.3%	47.4%	50.1%
時価ベースの自己資本比率	24.4%	34.5%	42.3%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	4.3年	4.3年	3.2年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	22.5倍	23.8倍	27.8倍

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

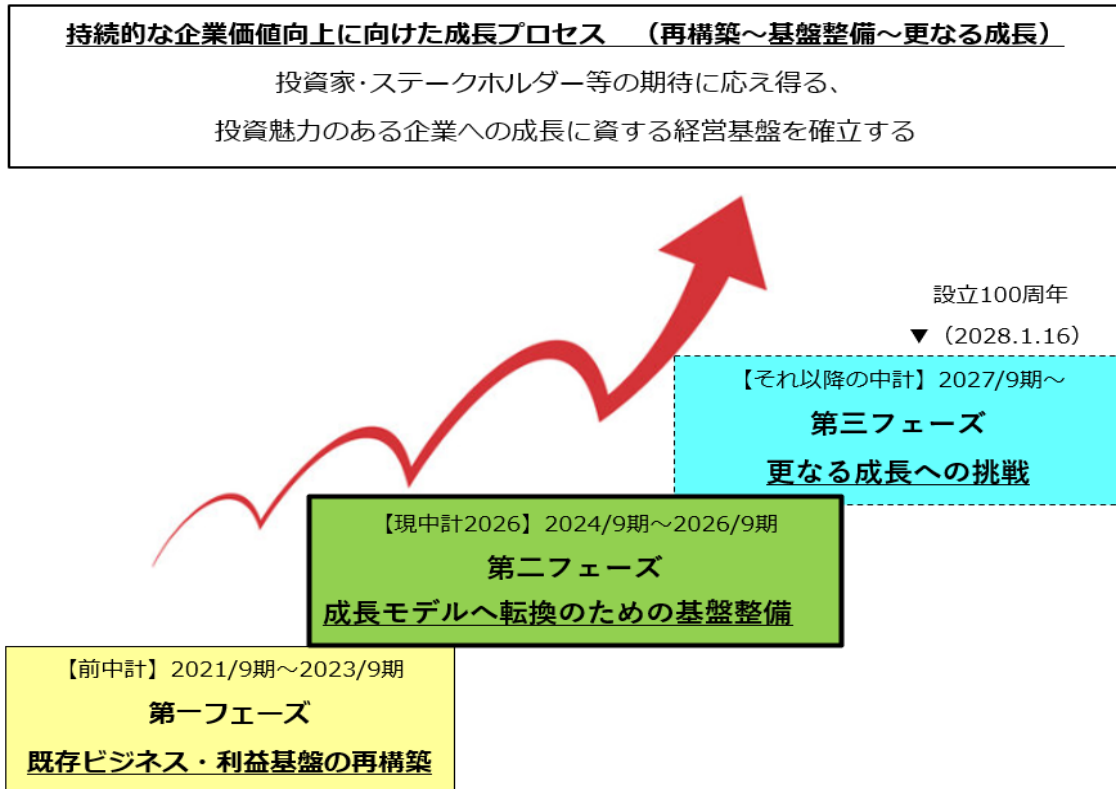
キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いは、キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

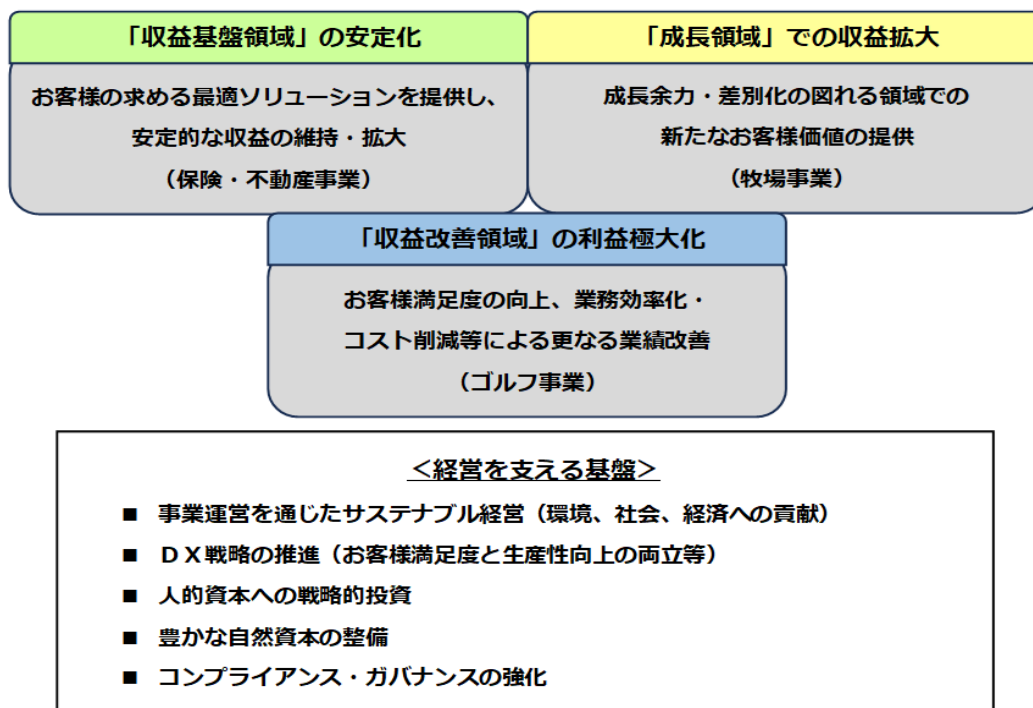
当社は、「三つのフェーズの成長プロセス」に基づいて中期経営計画を策定し、具体的な施策を着実に実行していくことで、「健全経営の基盤強化と永続的で強靱な経営体質の構築」を目指しております。



2023年10月に策定した「**中期経営計画2026**」(2024年9月期～2026年9月期)は、「**成長モデルへの転換のための基盤整備**」を目指す第二フェーズと位置付けており、2028年1月16日に迎える設立100周年に向けて「**更なる成長への挑戦**」を掲げた第三フェーズを見据えて、成長基盤の整備に取り組んでおります。

具体的には、引き続きインフレや人口減少等の外部環境変化への対応力を高めるとともに、新しいビジネスモデルによる更なる成長に不可欠となるブランド力向上のための施設リニューアルや新商品開発等の先行投資、経営を支える基盤である人的資本への戦略的投資等を進めてまいります。

「中期経営計画2026」(第二フェーズ)の目指す姿  
: ブランド価値向上による成長モデルへの転換のための基盤整備



現中期経営計画「中期経営計画2026」の2年目となる当事業年度は、国際情勢や金融市場において先行き不透明な状況が続く中、国内ではインフレや人手不足が一層拡大し厳しい環境となりましたが、当社では「お客様目線」を第一に、「安心安全」かつ「快適」な商品・サービスのご提供とブランド価値向上に努め、営業収益6,111百万円(予想比+311百万円)、営業利益616百万円(予想比+66百万円)、EBITDA 1,069百万円(予想比+69百万円)と、いずれも計画を上回り、「中期経営計画2026」最終年度の計画である営業利益600百万円、EBITDA1,000百万円を1年前倒しで達成しました。

また、2024年10月には、千本松牧場のレストラン・売店棟の新築工事が完成してリニューアルオープンし、2025年4月には、旧施設の跡地に那須千本松牧場の解放感を楽しんでいただけるランドスケープが完成し、ランドオープンを迎えました。100万人を超えるお客様にご来場いただくとともに、ご好評いただいております。同施設を“**PURE MILK FARM**”をコンセプトとする千本松牧場ブランドの発信基地と位置付け、更なる成長モデルの構築に挑戦してまいります。

次期(2026年9月期)については、引き続きインフレ基調の継続拡大並びに人手不足の常態化と厳しい環境が想定されますが、「更なる成長」に向けた業容拡大に伴う業務内容の拡張・高度化へ対応するための体制を構築・整備する期と位置付け、営業収益6,200百万円(前期比88百万円増)、営業利益630百万円(前期比13百万円増)、経常利益730百万円(前期比4百万円減)、当期純利益500百万円(前期比2百万円増)を見込んでおります。

各事業において施策を迅速かつ着実に推し進めることにより、事業基盤及び収益基盤を拡大させ、更なる成長と企業価値向上に挑戦してまいります。

#### 各部門の主要施策

事業部門・本社部門での主要施策における共通概念は以下のとおりであります。

- ① 事業環境の変化を踏まえた収益基盤の強化、成長領域への事業拡大
- ② お客様との対話を通じた「満足度の高い商品・サービスの提供」
- ③ DX推進による「お客様満足度」と「生産性(業務効率化)」の向上
- ④ 当社の最大の強みである「質の高いお客様基盤」の有効活用と更なる拡充
- ⑤ ビジネスモデル変革の原動力となる人材の育成
- ⑥ 「環境・社会・経済への貢献」と「企業価値向上」の両立

(保険事業)

リスク管理の専門家としての「特色あるプロの代理店」として、お客様に寄り添ったコンサルティングを推進、総合提案力を強化し、以下を柱としたサステナブルな成長の実現を目指します。

- ◇お客様の様々なライフスタイルに応じたリスク管理パートナーとしての総合提案力の強化
- ◇教育制度の拡充による専門知識を持つスペシャリストの育成
- ◇お客様との信頼関係を基盤とした継続的な成長を実現し得る組織・体制の強化

(不動産事業)

テナント様・入居者様へ「安心安全」かつ「快適」な空間を提供いたします。

- ◇適切な設備更新・改修投資の実施による賃貸不動産の利便性・快適性・安心安全の維持向上
- ◇お客様満足度の向上を意識し、専門性を更に強化した業務体制の構築
- ◇優良資産の取得、ポートフォリオ見直し及び新規事業への展開による収益基盤の強化拡大
- ◇千本松地区における資産の有効活用と営繕・保全管理の高度化

(千本松牧場)

ブランドコンセプト“**PURE MILK FARM**”の下、環境に優しい牧場づくりと観光牧場としての競争力強化を図るとともに、安心・安全で美味しい商品展開と外販営業の強化に取り組んでまいります。

- ◇観光施設：地域連携を重視したイベントや牧場内の施設改善等により、2025年4月グランドオープン以降の来場者増加トレンドを維持・強化
- ◇外販営業：ソフトクリーム外部店舗の出店推進、ネット販売を強化
- ◇酪農：「循環型酪農」の高度化等、自然資本を活用したSDGsへの取り組みを継続

(ゴルフ事業)

ご来場者様により楽しく・心地よい時間をお過ごしいただけるよう、基本となる取り組みを深化させ、営業利益の黒字転換と安定的な利益基盤の構築を目指します。

- ◇コースコンディション、接遇、レストランメニュー等の一層の向上によるゴルフ場の魅力アップと、ご来場の楽しみが増すサービスや特典の充実
- ◇情報発信力を強化し、ゴルフ場の魅力や素晴らしさ、時節に応じたプランやサービス等を確りと伝え、ブランド価値の向上及びご来場動機の増進に取り組み

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。



3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当事業年度 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,399,821	1,940,471
売掛金	355,729	413,533
商品及び製品	130,159	145,932
仕掛品	7,830	8,667
原材料及び貯蔵品	58,428	58,444
前払費用	102,725	78,515
その他	67,651	107,553
貸倒引当金	△35	△46
流動資産合計	3,122,310	2,753,072
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,597,007	12,962,000
減価償却累計額	△8,481,986	△8,296,214
建物(純額)	4,115,021	4,665,785
構築物	3,902,827	4,017,094
減価償却累計額	△3,656,575	△3,653,197
構築物(純額)	246,251	363,897
機械及び装置	1,358,170	1,376,031
減価償却累計額	△1,227,192	△1,171,275
機械及び装置(純額)	130,977	204,756
車両運搬具	159,337	164,740
減価償却累計額	△143,761	△152,707
車両運搬具(純額)	15,575	12,033
工具、器具及び備品	1,223,509	1,288,518
減価償却累計額	△872,589	△833,933
工具、器具及び備品(純額)	350,920	454,585
乳牛	234,828	243,512
減価償却累計額	△90,090	△92,429
乳牛(純額)	144,738	151,083
土地	9,147,406	9,147,406
コース勘定	749,140	749,140
立木	73,427	73,369
リース資産	185,344	169,616
減価償却累計額	△155,048	△144,380
リース資産(純額)	30,295	25,236
建設仮勘定	720,209	638
有形固定資産合計	15,723,964	15,847,931

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当事業年度 (2025年9月30日)
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	3,508	1,477
商標権	267	237
その他	21,083	41,459
無形固定資産合計	24,859	43,175
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	741,300	863,773
出資金	3,522	3,522
長期前払費用	56,820	34,011
前払年金費用	83,472	107,725
その他	43,436	53,609
投資その他の資産合計	928,552	1,062,641
固定資産合計	16,677,376	16,953,748
資産合計	19,799,686	19,706,820
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	101,860	138,485
リース債務	24,137	18,194
未払金	607,795	235,164
未払費用	297,821	336,324
未払法人税等	121,240	99,153
契約負債	69,068	103,433
前受金	90,112	92,348
保険会社勘定	79,572	122,832
預り金	16,523	18,832
1年内返済予定の長期借入金	120,800	120,800
賞与引当金	118,806	134,108
役員賞与引当金	19,000	26,600
圧縮未決算特別勘定	20,748	—
その他	84,346	61,130
流動負債合計	1,771,832	1,507,408
<b>固定負債</b>		
長期借入金	2,979,200	2,858,400
リース債務	63,810	45,615
退職給付引当金	28,210	21,830
役員退職慰労引当金	59,900	71,310
長期預り保証金	5,399,701	5,175,238
資産除去債務	103,355	104,350
繰延税金負債	13,821	57,638
固定負債合計	8,647,998	8,334,382
負債合計	10,419,831	9,841,790

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当事業年度 (2025年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金		
資本準備金	527,052	527,052
資本剰余金合計	527,052	527,052
利益剰余金		
利益準備金	120,894	130,108
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,080,574	4,477,142
利益剰余金合計	4,201,468	4,607,250
自己株式	△19,452	△19,817
株主資本合計	9,049,618	9,455,035
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	330,237	409,994
評価・換算差額等合計	330,237	409,994
純資産合計	9,379,855	9,865,029
負債純資産合計	19,799,686	19,706,820

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業収益	5,480,189	6,111,745
営業原価	4,184,855	4,672,726
営業総利益	1,295,333	1,439,018
一般管理費	723,979	822,248
営業利益	571,354	616,770
営業外収益		
受取利息	156	1,878
受取配当金	35,181	22,496
会員権消却益	125,908	133,975
その他	43,373	20,627
営業外収益合計	204,620	178,977
営業外費用		
支払利息	30,571	33,898
乳牛除売却損	16,257	24,525
その他	4,596	2,431
営業外費用合計	51,424	60,855
経常利益	724,549	734,892
特別利益		
固定資産売却益	177	299
投資有価証券売却益	144,303	—
補助金収入	20,748	—
特別利益合計	165,228	299
特別損失		
固定資産除売却損	22,252	57,891
減損損失	321,217	4,311
圧縮未決算特別勘定繰入額	20,748	—
特別損失合計	364,217	62,203
税引前当期純利益	525,560	672,989
法人税、住民税及び事業税	209,442	173,957
法人税等調整額	8,054	1,107
法人税等合計	217,497	175,065
当期純利益	308,063	497,924

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
				繰越利益剰余金			
当期首残高	4,340,550	527,052	112,517	3,864,653	3,977,171	△19,452	8,825,320
当期変動額							
利益準備金の積立			8,376	△8,376	—		—
剰余金の配当				△83,765	△83,765		△83,765
当期純利益				308,063	308,063		308,063
自己株式の取得						—	—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	8,376	215,920	224,297	—	224,297
当期末残高	4,340,550	527,052	120,894	4,080,574	4,201,468	△19,452	9,049,618

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	279,303	9,104,624
当期変動額		
利益準備金の積立		—
剰余金の配当		△83,765
当期純利益		308,063
自己株式の取得		—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	50,933	50,933
当期変動額合計	50,933	275,230
当期末残高	330,237	9,379,855

当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	4,340,550	527,052	120,894	4,080,574	4,201,468	△19,452	9,049,618
当期変動額							
利益準備金の積立			9,214	△9,214	—		—
剰余金の配当				△92,142	△92,142		△92,142
当期純利益				497,924	497,924		497,924
自己株式の取得						△365	△365
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	9,214	396,567	405,782	△365	405,416
当期末残高	4,340,550	527,052	130,108	4,477,142	4,607,250	△19,817	9,455,035

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	330,237	9,379,855
当期変動額		
利益準備金の積立		—
剰余金の配当		△92,142
当期純利益		497,924
自己株式の取得		△365
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	79,757	79,757
当期変動額合計	79,757	485,174
当期末残高	409,994	9,865,029

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	525,560	672,989
減価償却費	379,807	452,508
減損損失	321,217	4,311
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△23,017	10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19,090	15,302
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,625	7,600
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,300	△6,380
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△12,520	11,410
受取利息及び受取配当金	△35,338	△24,374
会員権消却益	△125,908	△133,975
支払利息	30,571	33,898
固定資産除売却損益 (△は益)	22,074	57,591
投資有価証券売却損益 (△は益)	△144,303	—
補助金収入	△20,748	—
売上債権の増減額 (△は増加)	4,928	△57,804
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,109	△16,625
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,644	36,625
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	16,933	17,514
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	△50,625
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△30,299	△20,542
未払費用の増減額 (△は減少)	38,494	38,502
圧縮未決算特別勘定の増減額 (△は減少)	20,748	△20,748
その他	△27,292	126,736
小計	950,568	1,143,925
利息及び配当金の受取額	35,334	24,366
利息の支払額	△30,918	△33,763
法人税等の支払額	△220,056	△195,611
営業活動によるキャッシュ・フロー	734,928	938,917
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	500,000	—
有形固定資産の取得による支出	△2,274,966	△1,040,295
有形固定資産の売却による収入	161,750	12,892
有形固定資産の除却による支出	△8,055	△30,055
無形固定資産の取得による支出	△859	△27,869
投資有価証券の売却による収入	549,753	—
その他	△8,197	△10,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,080,575	△1,095,499
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	750,000	—
短期借入金返済による支出	△750,000	—
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金返済による支出	△100,000	△120,800
入会預り保証金の返還による支出	△110,941	△111,025
リース債務の返済による支出	△32,532	△22,247
配当金の支払額	△83,230	△91,589
その他	—	△365
財務活動によるキャッシュ・フロー	173,295	△346,026
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△172,351	△502,609
現金及び現金同等物の期首残高	2,492,599	2,320,248
現金及び現金同等物の期末残高	2,320,248	1,817,639

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等の注記)

該当事項はありません。

(損益計算書に関する注記)

減損損失

当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

用途	場所	種類	減損損失 (千円)
ゴルフ場	ハウライカントリー倶楽部 (栃木県那須塩原市)	建物	132,974
		構築物	99,001
		機械及び装置	22,510
		車両運搬具	1,170
		工具、器具及び備品	14,404
		リース資産	2,708
		小計	272,769
	西那須野カントリー倶楽部 (栃木県那須塩原市)	建物	9,968
		構築物	4,782
		機械及び装置	21,688
		車両運搬具	125
		工具、器具及び備品	3,100
		リース資産	8,782
		小計	48,447
合計			321,217

当社は、管理会計上の事業区分に基づく事業部を単位として、資産のグルーピングを行っております。ゴルフ場については収益性の低下により、減損損失を認識しました。

ゴルフ場資産の回収可能価額は、正味売却価額により測定しており、不動産鑑定評価額により評価しております。

当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

用途	場所	種類	減損損失 (千円)
処分予定資産	千本松売店・レストラン等 (栃木県那須塩原市)	建物	1,937
		工具、器具及び備品	210
		小計	2,148
ヨーグルト生産設備	那須乳業工場 (栃木県那須塩原市)	建物	71
		機械及び装置	1,992
		ソフトウエア	98
		小計	2,163
合計			4,311

当社は、管理会計上の事業区分に基づく事業部を単位として資産をグルーピングしており、固定資産について、資産グループごと、また、遊休資産及び処分予定資産については個別物件単位で減損の兆候の有無を判定しております。

上記の処分予定資産については、老朽化した建物等の取り壊しの方針の決定により、ヨーグルトの生産設備については、製造縮小に伴い当該製品製造に係る設備が使用中止となったため、関連する資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しました。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローが見込めないため零としております。



(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別に4つの事業本部を置いて事業活動を展開しており、「保険事業」「不動産事業」「千本松牧場」「ゴルフ事業」の4つを報告セグメントとしております。

「保険事業」は保険代理店業務、「不動産事業」は賃貸ビルの運営、「千本松牧場」は乳製品の製造販売、レストラン経営や土産品販売、「ゴルフ事業」はゴルフ場の運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	保険事業	不動産 事業	千本松牧場	ゴルフ事業	計		
営業収益							
顧客との契約から生じる収益	1,179,419	15,925	2,249,748	773,988	4,219,081	—	4,219,081
その他の収益(注) 3	—	1,261,107	—	—	1,261,107	—	1,261,107
外部顧客への営業収益	1,179,419	1,277,033	2,249,748	773,988	5,480,189	—	5,480,189
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	3,996	—	3,996	△3,996	—
計	1,179,419	1,277,033	2,253,744	773,988	5,484,185	△3,996	5,480,189
セグメント利益又は損失 (△)	478,172	760,496	134,500	△77,836	1,295,333	△723,979	571,354
セグメント資産	327,680	12,184,740	2,463,604	1,272,442	16,248,467	3,551,219	19,799,686
その他の項目							
減価償却費	7,469	189,091	141,933	20,846	359,340	20,467	379,807
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	7,242	1,761,995	930,927	73,059	2,773,224	16,823	2,790,047

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△723,979千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額3,551,219千円、その他の項目の減価償却費の調整額20,467千円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額16,823千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等であります。

当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	保険事業	不動産 事業	千本松牧場	ゴルフ事業	計		
営業収益							
顧客との契約から生じる収益	1,173,839	15,865	2,786,879	846,886	4,823,470	—	4,823,470
その他の収益(注) 3	—	1,276,338	11,936	—	1,288,274	—	1,288,274
外部顧客への営業収益	1,173,839	1,292,203	2,798,815	846,886	6,111,745	—	6,111,745
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	5,054	—	5,054	△5,054	—
計	1,173,839	1,292,203	2,803,869	846,886	6,116,799	△5,054	6,111,745
セグメント利益又は損失 (△)	458,365	759,393	255,651	△34,393	1,439,018	△822,248	616,770
セグメント資産	404,344	12,179,265	2,898,062	1,334,040	16,815,713	2,891,106	19,706,820
その他の項目							
減価償却費	10,453	198,093	216,246	4,515	429,309	23,198	452,508
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	38,665	206,863	425,128	44,486	715,144	13,942	729,087

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額822,248千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額2,891,106千円、その他の項目の減価償却費の調整額23,198千円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額13,942千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等があります。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 千円)

	保険事業	不動産事業	千本松牧場	ゴルフ事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	321,217	—	321,217

当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 千円)

	保険事業	不動産事業	千本松牧場	ゴルフ事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	4,253	—	58	4,311

(1株当たり情報の注記)

項目	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり純資産額	2,239円54銭	2,355円50銭
1株当たり当期純利益	73円55銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。	118円89銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

- (注) 1. 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
当期純利益 (千円)	308,063	497,924
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	308,063	497,924
普通株式の期中平均株式数 (株)	4,188,297	4,188,113

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。